

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		スポーツ体験教室開催事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	西川正則
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	中山 あや
	基本事業	67	学習・スポーツの啓発			所属班	スポーツ振興班	(内線)	1505
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	2
		1	10	6	1	10773		コスト削減優先度評価結果	11
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 14 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	サッカー・卓球・ミニバレーボール・剣道・エアロビクス・ランポリン・ゴルフ・ヨガ・リズム体操・バドミントン・バレーボール・ピラティス・フォークダンス・3B体操・太極柔力球教室等にそれぞれ各種目協会等から講師を派遣してもらい、スポーツを体験する場を提供する。 平成14年度より市民のスポーツへの意欲を喚起、スポーツ未実施者の掘起こしときっかけ作り、スポーツの日常化を目的としたスポーツ体験教室として開始された。 平成14年度は1期5教室、参加者84名でスタートし、平成21年度は2期40教室、参加者890名の事業に成長した。 開催種目も参加者のニーズに沿ったものを用意し、老若男女問わず参加できるように工夫をしている。
【業務の流れ】	各講師と事業内容協議、施設利用申請、募集冊子作成、申込受付、受講生決定・通知、開講式出席、受講料徴収・収納、閉講式出席、報償費・委託料支払事務
【主な予算費目】	時間外勤務手当、報償費、消耗品費、役務費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・住民からは感謝のことばをいただくことがある。 ・教室によっては募集人員に制限があるものがあり、抽選にもれた人からの苦情もある。 ・子ども対象の教室の開催時間を遅くなるので変更して欲しいという要望がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
前期23教室、後期17教室行い890名の参加があった 新しい教室を入れていく予定	21年度に同じ 新しい教室を入れていく予定
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 参加者数	人
	イ 開催教室数
	教室
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
市民	⇒ ア 市民
	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
さまざまなスポーツを体験する	⇒ ア 参加者数
	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 市民一人、1スポーツを目指し、できるだけ多くの市民に参加してもらうため。 平成22年度目標値は21年度の目標値を達成できるよう設定。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 人	760	905	905	890	905	905	905	
	イ 教室	37	42	42	40	42	42	42	
⑤ 対象指標	ア 人	53,909	54,518	55,124	54,856	55,732	56,281	56,829	
	イ								
⑥ 成果指標	ア 人	760	905	905	890	905	905	905	
	イ								
投資 入 量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	1,034	1,204	1,110	1,301	1,110	1,110	1,110
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	1,597	1,514	1,829	1,654	2,232	2,232	2,232
	(A) 事業費計	千円	2,631	2,718	2,939	2,955	3,342	3,342	3,342
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円	593	447	584	679	963	963	963
	正規職員従事人数	人	5	6	5	5	5	5	5
延べ業務時間	時間	350	61	61	66	66	66	66	
(B)人件費計	千円	1,390	244	243	263	263	263	263	
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,021	2,962	3,182	3,218	3,605	3,605	3,605	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	0
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0

事務事業名	スポーツ体験教室開催事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

新しい教室を入れようにも空いている場所がない。
講師を探すのに苦労する。講師登録人材バンクがあれば探しやすくなるし、雇用の促進にもつながると思う。
同じ人が同じ教室に何回も参加しているケースがあり、『スポーツ体験』という趣旨に合っているのか悩むところである。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

この教室を体験した市民が総合型地域スポーツクラブに加入することにより、円滑な事業運営が行える。また、クラブの活性化につながり、クラブ独自の財源が増え、市補助金削減につながる。

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

- ・総合型地域スポーツクラブへのスムーズな移行→トランポリン教室は教室講師＝ヴィーブルFUNクラブ指導者の構図ができあがっており、多くの参加者がヴィーブルFUNクラブに加入した。今後もこの構図で取り組んでいきたい。
- ・クラブ種目の充実、指導者の確保→教室参加者をその気にさせるメニューや指導者の確保が必要である。クラブ事務局と連携して取り組むことで解決できると思う。